

## いのち輝く春 夢いっぱいスタート

本日は、お子様のご入学ご進級、誠におめでとうございます。立花小学校は、令和5年3月に創立150年を迎える、尼崎市内で最も歴史のある小学校のひとつです。校風には伝統が醸し出す品格を感じています。ひとえにご家庭地域のご努力の積み重ねだと思っています。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

新学年を迎えるにあたり期待が膨らむ一方、勉強や友達のこと等それぞれに不安もあることと思います。立花小学校は「全ての子どもが安心して通うことができる学校」「全ての子どもが自己肯定感をもって学ぶ喜びを知る学校」「全ての子どもが未来に夢と希望を感じることのできる学校」をめざします。大人から見ると「できるのだろうか」とはらはらするようなことも、子どもは乗り越えて成長するものですが、SOSには早く気づかねばなりません。様子がいつもと違うと思われることがあれば、お子さんに話を聞いていただき、遠慮なく学校にご相談ください。担任だけでなく全職員が互いにカバーし合いながら全校児童を見てまいります。また、学校は経験則で判断するのではなく、専門家の見立てを重視することで、お子さんにとって最適な手立てを考え、責任をもって向き合う所存です。子どもがのびのびと教育を受け、元気に過ごすために、学校、家庭、地域、専門機関等が平素より連携し、協力して見守る「子育て応援チーム」が「チーム立花小」です。子どもの健全な育ちにはご家庭の悩みや問題に寄り添うことも重要だと考えます。守秘義務のある専門家をご紹介しますので遠慮なくご一報ください。

本年度、本校は新たな一步を大きく踏み出します。まず、コミュニティスクール（学校運営協議会&立花小Happyネット）がスタートします。また尼崎市幼保小連携モデル校園にも指定されており、立花幼稚園、大西保育所とともに研究を進めます。さらに、創立150周年記念事業の取り組みでは子どもたちが地域のよさを再認識し、学校の歴史に誇りをもち愛着を感じられるよう、多世代交流を教育課程内で進めていく計画です。学力向上も、今年度バージョンアップします。詳しくは別紙でお知らせしますが、どの子も「やればできる」ことを実感し、将来への夢につながるものになるようにと考えています。

具体的な取り組みの一つに多層指導モデルMIMがあります。これは、主に1年生の「こくご」の読みの学習において、学習の基盤となる言語能力の育成の手立てとして導入するものです。子どもたちが特につまずきやすい「特殊音節」（促音、長音等）に焦点をあてて指導することで、全ての学習につながる言葉の習得のつまずきを早期に発見し、早期の支援につなげることが可能になります。また、多層指導モデルMIMの活用により、文を読むことが流暢になるとともに理解力、読解力を高めることができます。視覚支援や言葉の動作化などを取り入れることで、全身で楽しみながら語彙を増やしていきます。

タブレットと充電器も、新年度登録が完了次第、学習で活用してまいります。昨年度はリモートでの保護者説明会や学年懇談にも活用しました。各ご家庭ですぐに使用できる環境整備にご協力をお願いします。

新型コロナ対応は、行事のためにも油断しないで継続してまいります。子どもたちが教育活動や行事を計画通りに実施できることを信じて、下見等の準備も進めています。今年度も「子どもファースト」で全職員が一致団結して頑張りますので、ご理解とご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。